

東部ことぶきだより

楽しきかな「東部ことぶき」の活動 2013年7月～12月



日帰りバス旅行

2013. 11. 15

恒例の秋のバス旅行です。大雄山最乗寺(参詣・散策)／小田原海鮮料理(昼食)／籠清蒲鉾本店(買い物・試食)／アサヒビール神奈川工場(見学、試飲)のコース。当日は雨模様でしたが雨はバスでの移動中で、ほとんど傘を差さずに散策することができました。地域の方々とも交流を深めることができた一日でした。参加者は37名。



紅葉・黄葉の中の散策(大雄山)最



ビール工場で見学の後の試飲



ビール工場での試飲は
さながら宴会の様相
名店籠清での買い物

海鮮料理で舌鼓



東部まつりに作品出展 2013.10.5~6

10月5日(土)、6日(日)、区民活動センターで東部まつり「展示の広場」が開催され、東部ことぶきも展示会に参加しました。作品出展者は、小泉良雄(24期、写真)、中川昭二(26期、絵画)、橋本昭(27期、絵画)、鈴木富子(34期、エコバッグ・レザーフラワー)、森田博子(35期、焼物)、伊井数子(生3期、お手玉人形)中田みや(生3期、絵画・さやか人形)の皆さん。体験コーナーは手作りエコバッグの製作です。今年も大盛況、20名を超える沢山の方が体験されました。東部まつりは毎年の恒例行事です。会員の皆さんの1年間の成果の発表の場として積極的に活用していただきたいと思います。



↑展示コーナーと出展作品→



↓大盛況の体験コーナー



「ことぶきの日」企画 さやか人形教室 2013.9.14~



会員6名一般4名の10名で始めました。子供のように昨晩は眠れなかったとの話もでる程みんな楽しみにしていらっしやったようです。その一言でお互いの緊張感もとれ、和やかに楽しく我が子を育てるがごとくに目を輝かせて手を運ばせていました(写真左・中)。多少のミスやトラブルもありながら、時間内に作品として仕上げる事が出来満足した様子でした。嬉しい限りです。大作に挑戦するまで息長く続けていきたいと思っています。都合5回開催され、その成果は東部まつりの展示場に展示いたしました(写真右)。

地域の子どもたちとの交流－塔山キッズ・プラザ「囲碁将棋であそぼう」 2013.7



2013.7.25、26

キッズ・プラザ
塔山の夏の恒例
行事「このゆび
とまれ 囲碁・
将棋であそぼ
う」。子どもた
ちに楽しく遊ん
でもらった二日
間でした。将棋
に強いお子さん
がいて我々も負
かされてしまい
ました。参加者
は染谷、森本、
植松、喜多村、
村守、鈴木(研)、
三宅、峯元の皆
さんです。
子どもたちと遊
ぶのは本当に楽
しいものです。
元気ももらえま
す。皆さんも一
緒に遊びませ
んか。参加をお待
ちしております。

地域の子どもたちとの交流－塔山キッズ・プラザ「昔あそび」



2013.12.19、20

冬の恒例行事。当日は生憎雨が降り、校庭は使えず竹馬ははできませんでしたが、体育館で羽根突き、室内でこま回し、おはじき、お手玉、あやとり、けん玉、将棋等で子どもたちと楽しくあそぶひとときでした。参加者は鈴木富子、北村、喜多村、斎田、伊井、中田、水野、峯元の皆さんです。



「高齢化社会の到来」について思うこと

第34期 儘田 宏

厚生労働省は「65歳以上の方を高齢者、75歳以上の方を後期高齢者」としており、65歳以上の人口が総人口に占める割合が20%を超えた状況を「高齢化社会」と定義づけております。平成24年10月の内閣府調査で高齢化率は全国平均で24.1%、東京都で21.3%になりました。平成72年（2060年）には全国での高齢化率は39.9%に達し、2.5人に1人が65歳以上となり、わが国は今まで、世界のどの国も経験したことのない、本格的な高齢化社会になります。

時々、「高齢化社会は問題だ」という話をする方々がありますが、本来は、古代・神代の時代から「長寿は人類の望むところ」であり、大変に喜ばしいことなのです（2011年：平均寿命男79.44歳、女85.90歳）。「高齢化社会は問題」として捉えないで、「安全・安心して暮らせるより良い高齢社会に、どうすれば作り変えていけるか、その課題が多く存在している」と、誰もが認識を切り替える必要があります。

私たち、60歳以上の者は高度成長期に先頭を走り、「エコノミック アニマル」と言われました。戦後の復興期から、高度成長期、バブル期と、また、オイルショックやリーマンショック等の崩壊も経験し、世の中の仕組みを熟知しております。昭和40年初めの「資本の自由化」やオイルショックやリーマンショック等、「日本は駄目になるのかなあ」と、思いながらも、それを乗り越えて、今のわが国の繁栄があります。社会において長期間、日本経済を引っ張り、世界有数の経済大国に貢献できたと認識しております。

私たち高齢者は多くの試練に遭遇しており、それを凌駕してきた経験とノウハウも持っており、これからは高齢者の蓄積したノウハウや技術を生かせる環境づくりが、益々重要になって

きます。この年代の活用を促進し、動ける高齢者を増やすことが重要です。

今こそ「高齢者の底力」が試される時はないと考えます。東京大学の教授が長寿の方々の生活環境を調査したところ、長寿の方は何らかの形で社会に関わっていることが分かりました。私共高齢者が少しでも「地域支援・学校支援」にお役にたてるように、心がけていきたいと考えております。

若い方々も、地域活動で多くの年配者に出会うことにより、自己の成長と社会に関わる貴重な機会が得られます。いろいろな考えと能力を持っている地域のリーダーに出会い、地域社会に関わる面白さと重要性を認識されることを期待いたします。

展覧会見て歩き

生2期 元木英雄

いろいろな方から展覧会の招待券をいただきます。お礼状を差し上げる際に一言感想を書き記したものを集めたものです。

昨年も日本画・油彩画・書道・写真など、いろいろな展覧会を鑑賞することができ、至福の時を過ごしました。カタログなどの印刷物と実物ではまるで違います。機会があればなるべく展覧会場に足を運び実物を観るようにしています。

◆某月某日、「三岸節子展」を三越本店で鑑賞
ウイークデーの午後、ご招待いただきました。「三岸節子」展を鑑賞してまいりました。平日にもかかわらず会場はかなり混雑しておりました。今まで三岸節子の作品を、今回の展覧会ほど数多くの作品を一同に観たことはありませんでした。加齢とともにその筆致は勢いを増し、観るものに元気を与えてくれる作品ばかりでした。特に最晩年の作品は、絵の具がまだ乾いていないのはいいか、と思わせるような重厚な画面に見とれておりました。また、色彩ではユトリロの「白」、ル

ドンの「黒」などと言われるように、画家それぞれ得意の色があるように、三岸の「赤」といわれるだけあって、赤の色は強烈で印象的でした。とにもかくにも素晴らしい展覧会でした。
[三岸節子 (1905～1999) 洋画家]

◆某月某日、「原田泰治とクロアチアの仲間たち展」を三越本店で鑑賞 かつて朝日新聞日曜版のフロントページを飾っていた原田泰治の絵を楽しんでいましたが、今回原画を観ることができ、その色彩の素晴らしさに驚くとともに感動しました。屋根瓦1枚1枚すみずみまで丹念に書き込まれた作品の数々、これが原田泰治の世界かと原画を観て初めて実感することができました。また、クロアチアにも原田泰治と同じ感性を持った画家たちがいることを知り驚きでした。[原田泰治 (1940～) 画家・グラフィックデザイナー]

◆某月某日、「吉原治良展」を国立近代美術館で鑑賞 関西でご活躍の画家ということで、不勉強ゆえ今日まで存知あげませんでした。まず出展作品の数の多さ、色彩の柔らかさに驚きました。初期の作品で、画面手前に静物画、遠景には風景を取り入れた構図の斬新さを感じ、具象の中に見え隠れする抽象を感じ取ることができました。画の説明文の中で、当時の美術雑誌で「円とか三角を描いて、だれが見てもわからぬのに、芸術家だけが価値ありとしても、実に馬鹿らしい遊びごとである」と非難されたとありましたが、先駆者はいつの時代でも大変だと感じました。敗戦直後の作品はやはり

茶色一色で、非常に暗いものを感じました。カタログでは感じとることのできない、ペインティングナイフと筆使いの妙を観ることができ、充実した時を過ごすことのできた展覧会でした。[吉原治良 (1905～1972) 抽象画家]

◆某月某日、「三井家伝来茶の湯の名品展」を三井記念美術館で鑑賞 数十年まえ、社会人となって初めて、横浜三溪園での茶会に招待され、慣れない正座に往生したことを思い出しました。まず、感動したのは、織田信長の弟、有楽齋が建てた黄金の「茶室如庵」の写しの静寂で凜とした美しさでした。また、その茶室にそっと置かれた「国宝志野茶碗」を久しぶりに再見した喜びです。財閥の功罪がいろいろ言われていますが、日本人が愛している茶の湯だけに限っても、このような名品を一同に鑑賞できるのは財閥が利益の社会還元の一つとしての蒐集力あってのものだと思いました。そのつもりで蒐集していたかどうかは、定かではではありません。新興企業が株価の時価総額が何兆円になったと息巻いていますが、もし百年後にその企業が生き残っていたとして、どんな利益の社会還元がなされているかは見るすべもありません。

◆某月某日、「プリンセス・ダイアナ展」を三越本店で鑑賞 1997年8月31日のダイアナ妃の自動車での事故死は、現在でも強烈に記憶しています。97年6月22日から30日まで、初じめてのヨーロッパ旅行でパリ滞在中、事故現場のセヌ川を潜る自動車道は何回も通りま

リニューアルオープンした、上野の東京都美術館で



印象派絵画の殿堂、箱根のポーラ美術館で



大倉喜八郎の銅像と、虎ノ門の大倉集古館で



した。帰国して2ヶ月後にダイアナ妃がその自動車道で事故死するとは。現場の自動車道を知る私として他人事とは思えませんでした。そのダイアナ妃の展覧会の招待券をいただき観てまいりました。展覧会そのものは写真展と違ってよく、期待していたほどその他の展示品が少なかつた印象を持ちました。グレン・ハーベいの写真は、英国王室専属カメラマンだけあって撮影ポジションは最高のポジションからの写真ばかりで、迫力満点でした。各国訪問時の写真は記念写真ではなく、1枚1枚愛情を込めてダイアナ妃の表情を良く捉えていたと思います。また妃の内面が見える写真でもありました。それにしてもお美しい。[ダイアナ妃(1961~1997)元英国皇太子妃]

◆某月某日、「長倉洋海写真展」を三越本店で鑑賞 紛争地や辺境の地で撮った子供たちの写真がどうして満面の笑みを浮かべているのか、今まで疑問に思っていました。幸運にも作家のギャラリートークを聴くことができ、その疑問を解くことができました。いきなり子供たちにカメラを向けるのではなく時間をかけて笑顔で明るく声をかけていると子供たちも笑顔で答えてくれるようになるそうです。カラーフィルムとモノクロフィルムの使い分けについても知ることができました。対象を強烈に伝えたいときは、観る人にインパクトを与えるためにモノクロを使うことが多いそうです。カラーだと観る人が対象物の周りの「色」に惑わされ、散漫になって真意が伝わらないので使い分けしているとのこと。展示作品の前で撮影当時の思い出を語ってくれ、その写真についてより理解を深めることができ、今までにない写真展を鑑賞することができました。[長倉洋海(1952~)写真家]

◆某月某日、再びの「三岸節子展」を高島屋日本橋店で鑑賞 早いもので今回は没後10年記念展、最終日に拝見しました。前回で感じたの

は、観る者を圧倒する勢いのある筆致でしたが、今回は絵の脇に展示してあった日記の文面を観て、そんなにも切羽つまった気持ちで描いていたのか、感動を覚えました。特に「絵を描くことは、長く遠くはてしない孤独との戦いである。64歳」との日記の一文です。この日記から30年間、素晴らしい作品を描かれています。93歳で描かれた「桜がさいた」と「ヨーロッパの風景画」が素晴らしかったと思います。

◆お得情報(入場料無料)

・東京都美術館：毎月第3水曜日、65歳以上無料。入場料が1,600円の企画展が、65歳以上であれば都民だけでなく、他県の人も無料です。

東京都の太っ腹が頼もしく思われます。

・東京国立博物館：総合文化展(常設展のこと)70歳以上無料。本館2階全フロアの展示なので見ごたえ十分です。偶然入館したときに、切手の図案にもなった、菱川師宣の「見返り美人図」を観ることができました。

・国立西洋美術館：常設展、65歳以上無料

・国立近代美術館：常設展、65歳以上無料
調べればまだまだあると思います。

・ホテルオークラのレストランが2か所ありますので、美術鑑賞の余韻にひたりつつ、ゆっくり食事ができます。値段は高めですが、たまの贅沢もいいのではないのでしょうか。

こころ動かされて

第27期 島田裕吉

今年(平成25年)という年を顧みると、いろいろのことがありました。中でも心に残る、そして心を動かされたことは、やはり猛暑が未だ続いていた頃の、9月7日の朝のニュースです。7年後に東京にオリンピック、パラリンピックが開催されることが決定、その時のプレゼンテーションでした。

「おもてなし」

忘れかけていた大事なおもいやりの心です。

自分はどうかと問われれば、内心ハッとする言葉でもあります。

それともう一つプレゼンテーションの中で、佐藤真海さんのスピーチです。骨肉腫という病により右足膝から下の切断、障害を乗り越えて自らの体験を語られておりました。その過程では、さぞや幾多の精神的、肉体的な苦痛、そして葛藤もあったであろうと思います。

挫折からの脱却、テレビで映ったあの気力に満ちあふれた表情、明るさ、笑顔、これは何だろうか、早朝の時間帯目をこすりながら見ていました。彼女はその精神的、肉体的な苦しみの中からの脱却の理由を「スポーツの力」と話されていました。きっぱりと明言されたところが凄いです。

しかし、そこまで来る過程には、自分だけが何故こんな目に遭わなければならないのだと、己が運命を悔やむこともあったに違いありません。

目標に向かって努力したからといって報われるものでもありません、しかし、努力し続ける限り必ず報われるという至言もあります。

長いこと生きていれば一度や二度は、死んでしまいたいような心の落ち込みや、挫折の経験はあることだと思います。

振り返れば、己れ自身にも心の落ち込み挫折はありました。

かつて胃癌の告知を受け、胃の全摘による手

術後の精神的、肉体的な苦痛、余命に対する不安、それらは当事者だけが余儀なくされる遣り切れなさです。

どん底からの精神的な苦痛、それからの脱出の切っ掛けは、言葉との出会いです。自分を苦痛から呼び覚ましてくれた言葉の存在であります。

「人身（じんしん）受け難し、今すでに受く」。という言葉です。（後に続く言葉がありますが省略します）。

人間がこの世に生れてくることは難中の難であります。不可称不可説、どんな説明をしても考え尽くしても、尽くし得られない、理解の範囲を越えたものであります。

ひょっとすると、蝉やとんぼ、あるいはミミズや蛙に生まれて来たかもしれないのに、こうして人間に生れてきたことの幸せ、この縁を得ずして何に感謝すべきか、こんなことが脳裡を深く過ぎりました。

「人身（じんしん）受け難し、今すでに受く」。この言葉に出会わなければ、精神的脱却は図り得られなかったかもしれません。

人生いろいろ、さまざまです。九十九（つづら）折りの過程を経験する中で、言葉との出会いの意味は限りなく大きく、大切なものだと領かされます。

生きる依りどころとして、何時までも座右の銘にしていきたいと思っている言葉の一つです。

◆●ことぶきの日とことぶきの日通信◆●

*毎月第1火曜日は「ことぶきの日」です。今年度から開始時間：13時～、所：宮園高齢者会館で開かれます。手芸、折紙をはじめ麻雀卓、囲碁・将棋盤等ゲームも用意しています。お気軽にお立ち寄り下さい。また、皆さまからの企画、ご提案もお寄せ下さい。

*毎月1～2回懇親麻雀会を予定しています。日時はその月のことぶきの日通信をご覧下さい。

*その他直近の行事などは毎月のことぶきの日通信にてお知らせいたします。

●◆活動報告 6月～12月◆●

(1)平成24年度総会

日時：平成25年7月2日（火）14時～16時

講演：①「歯の健康と健口体操」（講師：中部すこやか福祉センター 歯科衛生士 宮田由子氏）

②「後期高齢者保険制度の概要と活用方法」（講師：東中野包括支援センター 平野夕子氏）

(2)キッズ・プラザ塔山との行事協力

◆このゆびとまれ 囲碁将棋であそぼう

日時：7月25日（木）、26日（金）

場所：キッズ・プラザ塔山活動室

参加者：染谷吉雄（21期）、森本茂夫（26期）、植松務（32期）、喜多村義紀（生1期）、村守幸子（生1期）、鈴木研治（生2期）、三宅恒太郎（生3期）、峯元和博（生5期）（敬称略、順不同。以下同）。

◆このゆびとまれ 昔あそび

日時：12月19日（木）、20日（金）

場所：キッズ・プラザ塔山活動室・体育館

参加者：鈴木富子（34期）、喜多村義紀（生1期）、斎田昭義（生1期）、北村豊子（生2期）、伊井数子（生1期）、中田みや（生3期）、水野裕美（生5期）、峰元和博（生5期）。

(3)東部まつり作品展参加

日時：10月5日（土）、6日（日）

作品出展者：小泉良雄（24期、写真）、中川昭二（26期、絵画）、橋本昭（27期、絵画）、鈴木富子（34期、エコバッグ・レザーフラワー）、森林博子（35期、焼物）、伊井数子（生3期、お手玉人形）、中田みや（生3期、絵画・さやか人形）。

体験コーナーは手作りエコバッグの製作。

(4)日帰りバス旅行実施

日時：11月15日（金）

参加者：37名

場所：大雄山最乗寺（参詣・散策）／小田原海鮮料

理（昼食）／籠清蒲鉾本店（買い物・試食）／アサヒビール神奈川工場（見学、試飲）。

(5)ボランティア活動ー地域との交流

◆「友愛クラブ東部演芸大会」のサポート

日時：9月28日（土）

場所：塔山小学校体育館

活動：会の裏方として、会場設営や後片付け、音響の担当。

参加者：梅沢多佳子（25期）、丸岡千鶴子（31期）喜多村義紀（生1期）、鈴木研治（生2期）。

◆グリーンキーパーズの活動

日時：9月9日（月）、10月7日（月）、11月11日（月）

場所：塔山小学校第二運動場

活動：芝刈りの手伝い

参加者：鈴木富子（34期）、今田和代（生1期）、喜多村義紀（生1期）、鈴木研治（生2期）、伊井数子（生3期）、小田切昭（生3期）、峰元和博（生5期）。

(6)ことぶきの日（6回開催）

会員の交流、楽しみ、憩いの場として毎月第一火曜日（原則として）。毎回「ことぶきの日通信」発行。特別の日を設定して「さやか人形教室」、「親睦麻雀会」を開催。

◆さやか人形教室

中田みや（生3期）さんの指導で、参加者の皆さん一緒に熱心に人形作り、その成果は東部祭りの展示場に展示されました。5回開催。

◆親睦麻雀会

「ことぶきの日」の好評企画。開催日は原則として毎月の「ことぶきの日」および別に設定した開催日。開催日はその都度、毎月の「ことぶきの日通信」でお知らせいたします。

東部ことぶき今後の行事予定（平成26年1月～6月）

3月上旬 さくら館まつり

4月下旬 歩こう会

6月下旬 平成26年度総会

*毎月第1火曜日は「ことぶきの日」です。

時間：13時～ 場所：宮園高齢者会館

*親睦麻雀会 開催日時、場所はその都度、毎月の「ことぶきの日通信」でお知らせいたします。